

国道112号 ほっとなる通り

自転車道の改良整備が完成します。

山形河川国道事務所では、平成27年度から山形市内の国道112号の「ほっとなる通り」1.0km区間において自転車道の改良整備を行ってありますが、この度12月22日（火）に完成することとなりましたので、お知らせいたします。

消融雪設備と排水施設の整備により、雨天時や積雪時における走行環境の改善が期待されます。

■完成日時

令和2年12月22日（火）午前（式典はありません）

■完成区間

山形県山形市十日町～七日町地内 延長1.0km
（昨年度までに0.7km改良済み）

<発表記者会：山形県政記者クラブ、山形建設業界専門紙>

【問い合わせ先】

■事業に関する問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

副所長 田口 秀美

TEL 023-688-8421（代表）

■工事に関する問い合わせ

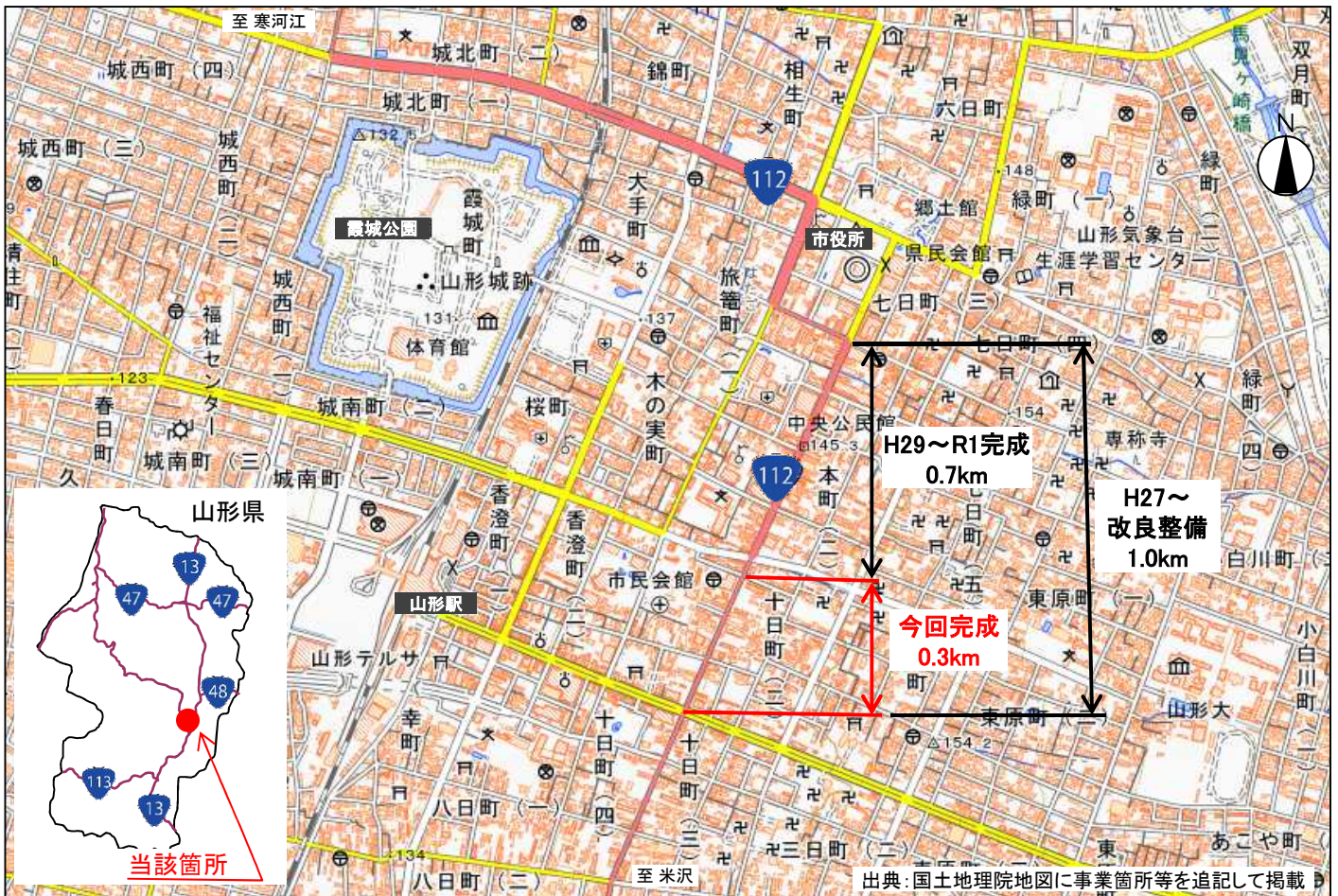
国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所

山形国道維持出張所長 半澤 勉

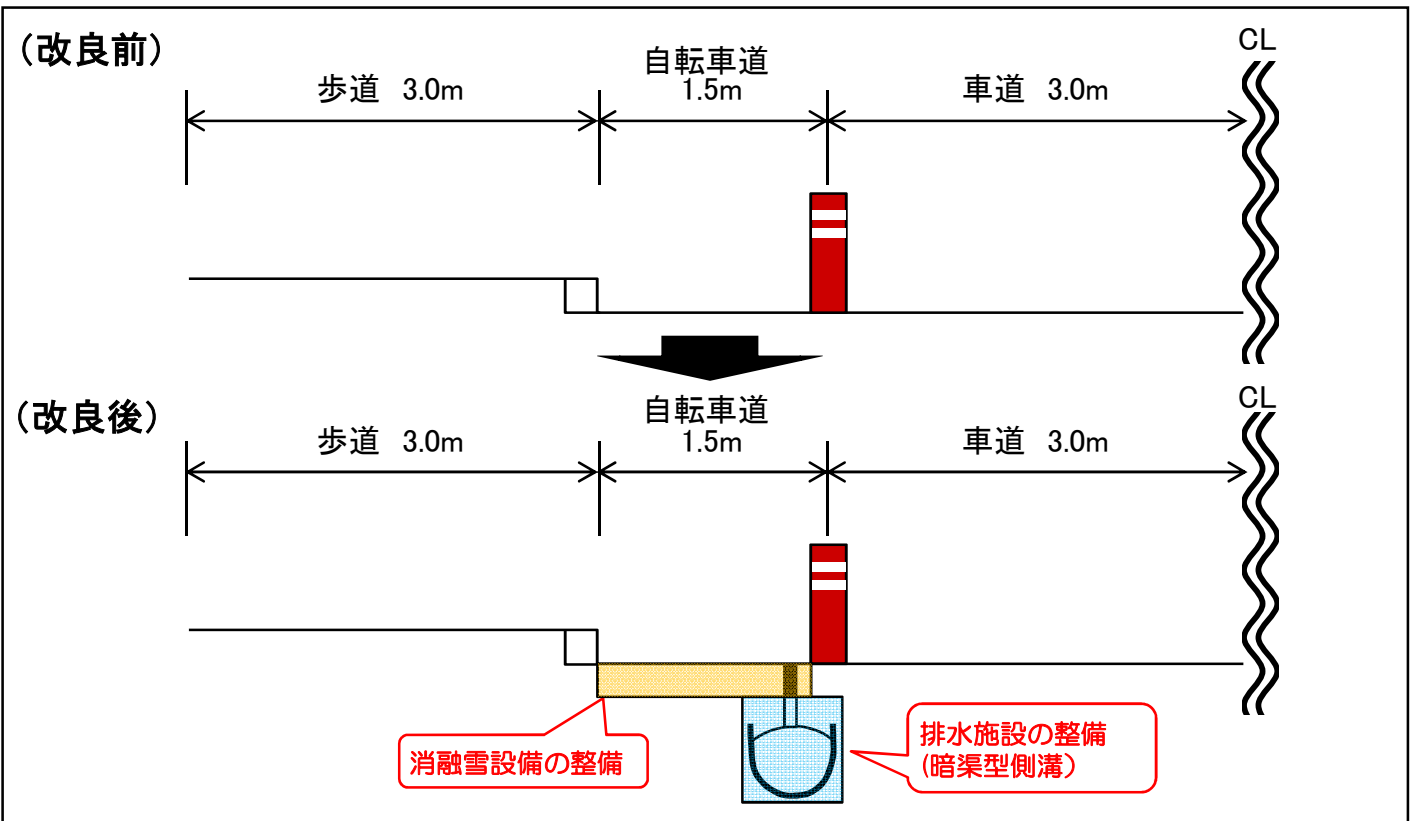
TEL 023-641-4435

国道112号 ほっとなる通り 自転車道の改良整備

位置図



改良内容



0.7km 改良済み区間の整備効果

※自転車走行台数: 約1,100台/日 (R1.11計測)

(改良前)

降雪時の状況

雨天時の状況



降雪時の状況

(改良後)

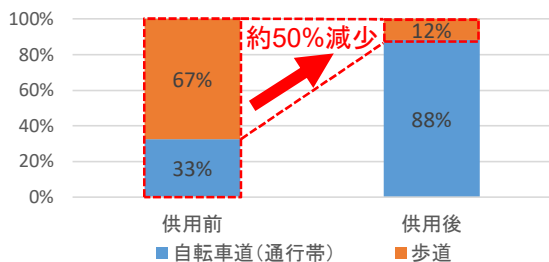


参考. 自転車道の整備効果

平成24年度に自転車道が整備されてから、歩道を走行する自転車が減少し、歩行者の安全が確保されています。

歩道を走行する自転車が減少

■自転車の通行位置



供用前: H21.10.6(火) 供用後: R1.11.21(木) 各日7:00~19:00で実測
※自転車交通量全体のうち、自転車道(通行帯)内を走る自転車の割合、歩道内を走る自転車の割合を算出。

歩行者と自転車の錯綜が解消

■歩道内での歩行者と自転車の錯綜



供用前: H21.10.6(火) 供用後: R1.11.21(木) 各日7:00~19:00で実測
※歩道内における歩行者と自転車の錯綜回数(接触/回避等の挙動)を計測